

Kinoshita Takanori :
a Retrospective



〔アイリーン〕昭和40年(1965) 油彩・キャンバス 91.1×72.5cm

2008年4月11日(金)～6月8日(日) 横浜美術館

- 開館時間 午前10時～午後6時(但し、金曜日は午後8時まで、入館は閉館の30分前まで) ■ 休館日 木曜日
- 観覧料 一般900(800)円、大学・高校生600(500)円、中学生400(300)円()内は20名以上の団体料金
- 小学生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料、毎週土曜日は、中学・高校生は無料(生徒手帳・学生証をご提示ください)
- リビーター割引 観覧済みの企画展有料チケットをご提示いただくと、団体料金でご覧いただけます(観覧日から1年間、1名様1回限り有効)
- 主催 横浜美術館(横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三妻地所ビルマネジメント共同事業体) / 神奈川新聞社 / ナレク
- 後援 NHK横浜放送局 / 横浜市市民活力推進局 / 公専美術団体一水会
- 協力 京浜急行電鉄 / 相模鉄道 / みなとみらい線 / 横浜ケーブルビジョン / 横浜市ケーブルテレビ協議会 / FMヨコハマ
- 特別協力 共立女子大学、共立女子短期大学

エレガンス

昭和の気品、横浜の洋画家

木下孝則展

11th April - 8th June, 2008 at Yokohama Museum of Art

Heart to Art 私たちは横浜美術館を支援しています。

LAND 株式会社 ランド

この展覧会は、大正末から昭和にかけて上品で軽妙な写実の画風を確立し、戦後、横浜市鶴見区に居をかまえて同地に没した洋画家・木下孝則(1894-1973)の画業を回顧するものです。

木下孝則は、大正末に二科会に初入選した後、エコール・ド・パリ全盛のフランスに洋画研究の目的で留学しました。当時のパリ画壇の影響のもと、マネやマチスといった画家の画風に学びながら初期の画業を展開し、帰国後は、二科会や春陽会を中心に、留学の成果を示すのびやかな写実画を発表しました。

木下孝則が画業の緒についた戦前期の洋画壇では、大正期に勃興した新興美術運動のあとをうけて、前衛的な傾向を示す様々な動向、たとえば、プロレタリア美術運動やシュルレアリスムが画壇を席卷していきました。木下孝則は、こうした戦前期の前衛とは常に一線を画し、自らの資質にかなう写実表現を追求すべく、昭和元年(1926)に「一九三〇年協会」、昭和11年(1936)には「一水会」の創立に加わりました。戦後は、一水会と日展に、練達した技巧による写実画を示し、都会的な感性に根ざした気品のある作風を確立しました。

この展覧会では、木下孝則の代表的な作品約190点でその画業を回顧するとともに、一九三〇年協会と一水会の創立会員の作品をあわせて展示し、穏健な写実表現に根ざした日本洋画の側面をご覧ください。



【関連事業】

●横浜美術館と共立女子短期大学生活科学科 カラー&デザイン研究室による連携事業

① 記念講演会

「木下孝則の婦人像に見る昭和の服飾モード」

日時：5月3日(土・祝)
15:00~16:30 (開場14:30)

場所：横浜美術館レクチャーホール

(入場無料・先着240名)

講師：城一夫氏(共立女子短期大学名誉教授、色彩文化・ファッション文化研究)

② 企画展示

「日本のファッション写真とイラストでたどる昭和・平成のおしゃれ」

展示構成：渡辺明日香氏(共立女子短期大学専任講師、ストリートファッション研究)

場所：横浜美術館アートギャラリー1

(入場無料)

会期：4月25日(金)~5月7日(水) 木曜休館

5月6日(火・振替) 14:00~15:30

箱守廣氏(ファッション・デザイナー)と渡辺明日香氏によるギャラリー・トークを開催致します。

③ ファッション・ショー

「タイムトンネル〜昭和美術館」

ファッション研究会の学生たちが、昭和をテーマにした衣装を制作し、ショーを行います。

企画構成：共立女子大学・短期大学ファッション研究会

日時：6月1日(日) 14:30~

場所：横浜美術館グランドギャラリー

(入場無料)

●担当学芸員によるスライド・レクチャー

日時：5月5日(月・祝)

15:00~16:30 (開場14:30)

場所：横浜美術館レクチャーホール

(入場無料・先着240名)

●担当学芸員によるギャラリー・トーク

日時：4月20日(日)・27日(日)

5月4日(日)・18日(日) 各日14:00~

場所：企画展示室

●記念講座「事前申込み制」

「薔薇と踊り子を描く〜木下孝則先生の思い出とともに」

木下孝則が好んで描いた薔薇と人物(踊り子)をモチーフにした油絵制作の講座です。

日時：薔薇コース[1回]:4月20日(日)
踊り子コース[1回]:5月18日(日)

各回10:30~15:30 (昼休1h)

場所：横浜美術館市民のアトリエ

講師：寺井重三氏(洋画家)

※講座に参加ご希望の方は、市民のアトリエにお問合せ下さい。

【次回展覧会予告】

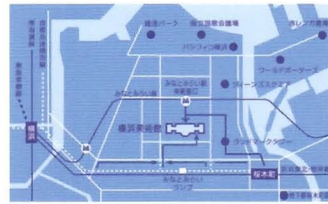
茂木健一郎・はな・角田光代・荒木経惟

4人が創る「わたしの美術館」展

〜とっておきの横浜美術館コレクション〜

2008年6月20日(金)~8月17日(日)

茂木健一郎、はな、角田光代、荒木経惟、各氏がそれぞれの視点で選りすぐった当館コレクションを紹介いたします。



横浜美術館
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1
Tel 045-221-0300 Fax 045-221-0317
URL <http://www.yaf.or.jp/yma>

交通案内

電車：みなとみらい線(東急東横線直通)をご利用の場合=みなとみらい駅下車、「美術館口」を出て徒歩3分。JR、横浜市営地下鉄をご利用の場合=桜木町駅下車、「動く歩道」を利用、徒歩10分。車：桜木町駅前から日本丸方面へ入る、または桜木町駅前から紅葉坂交差点を右折してMM21地区へ入り、美術館へ。横浜駅からは高島町MM21地区入口を通って美術館へ、いずれも3~5分(首都高速「みなとみらいランプ」も利用できます)。

※有料駐車場(10:00~21:00、収容台数168台):最初の90分は500円、以降30分毎に250円

左列上から 〈ヘビードール〉昭和42年(1967) 油彩・キャンバス 78.1×128.0cm / 〈読書〉昭和28年(1953) 油彩・キャンバス 72.2×60.6cm 神宮徴古館蔵 / 〈バラ〉制作年不詳 油彩・キャンバス 58.5×70.5cm / 〈T令嬢像〉昭和15年(1940) 油彩・キャンバス 90.5×72.5cm 京都市美術館蔵 右列上から 〈室内婦人〉昭和29年(1954) 油彩・キャンバス 140.0×114.0cm 日本芸術院蔵 / 〈M君像〉昭和31年(1956) 油彩・キャンバス 71.5×98.5cm 美輪明宏氏蔵 / 〈プロフィール〉昭和27-28年(1952-53) 油彩・キャンバス 59.5×48.6cm / 〈裸婦ナックレ〉昭和7年(1932) 油彩・キャンバス 71.2×89.7cm 横浜美術館蔵



Heart to Art 私たちは横浜美術館を支援しています。LAND 株式会社 ランド

横浜美術館の市民サービスや普及活動を、企業と連携して推進するプログラムそれが、Heart to Artです。株式会社ランドは、住まう方が誇りに思えるマンション「ランドシティ」シリーズ、これからの高齢化社会を見据えた輝き続けるシニア世代のためのライフステージ「ネクサスコート」シリーズの供給を行っています。英国貴族のマナーハウス、ヴェネチアのルネッサンス建築、古都トレドの高級ホテルなど、個々の物件の立地特性に合わせ海外の美しい街並みをモチーフにした特徴ある外観デザインにこだわりぬいてきました。この度の横浜美術館とのコラボレーションを通して、よりアート性の高い住まいの創造を追求していきます。